

製品名: CaMKII ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab01316**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 73 kDa; Observed MW: 45,60 kDa

抗原情報

遺伝子名	CAMK2B CAMK2B; CAM2; CAMK2; CAMKB; Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II
別名	subunit beta; CaM kinase II subunit beta; CaMK-II subunit beta; CAMK2G; CAMK; CAMK-II; CAMKG; Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II subunit gamma
遺伝子 ID	816
SwissProt ID	Q13554
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

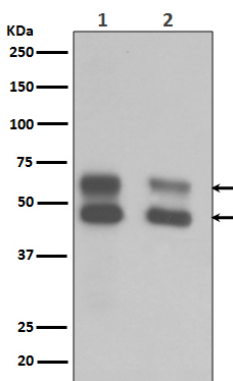
背景

CaM キナーゼ II (CAMK2) は、中枢神経系における主要なキナーゼであり、長期増強および神経伝達物質の放出に関与している可能性がある。興奮性シナプスにおける NMDAR シグナル伝達複合体の構成因子であり、AMPA の NMDAR 依存性増強およびシナプス可塑性を制御する可能性がある。

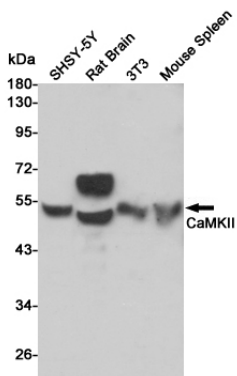
研究分野

神経科学

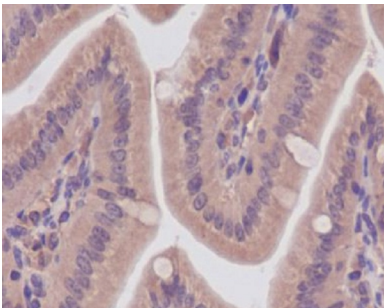
画像データ



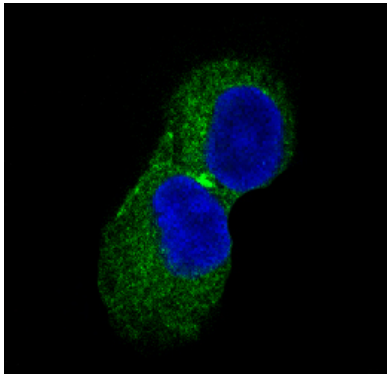
(1)マウス脳溶解物、(2)CaMKII 抗体を用いたラット脳溶解物中の CaMKII のウエスタンブロット分析。



CaMKII 抗体を使用した SH-SY5Y、ラット脳、3T3、およびマウス脾臓溶解物中の CaMKII のウエスタンブロット分析。



CaMKII 抗体を用いたパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



CaMKII 抗体を用いた PC-12 中の CaMKII の免疫蛍光分析。